

2010

(第 11 号)

鈴鹿医療科学大学 同窓会会報

2010年10月10日発行
発行：鈴鹿医療科学大学同窓会事務局
〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001-1
鈴鹿医療科学大学内
FAX ■ 059-383-9666
E-mail ■ mail@sums-aa.com
WEB ■ http://www.sumss-aa.com

大学祭同窓会ホームカミングパーティのお知らせ

今年も鈴鹿医療科学大学卒業生のみなさんを対象に、ホームカミングパーティを開催します。当日は、大学祭も開催されています。昨年まで、実習棟2階で開催していた「大抽選会」は今年からホームカミングパーティのイベントとして実施します。みなさまふるってご参加ください！

日時：2010年11月6日（土）12:00～14:00頃

場所：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B講義棟ラウンジ

※特に今年3月に卒業した16期生のみなさん、および今年卒業10年目を迎えた6期(1996年入学)生のみなさんのご参加をお待ちしています。

★詳細はホームページをご覧ください★

第二回ホームカミングパーティを開催して

昨年に引き続き、今年もホームカミングパーティを開催させていただきました！今回は「あの日の忘れ物」をテーマに、今年の卒業生をスタッフに迎え、おなじみのbingoゲームをメインに、懐かしくも楽しい時間を過ごすことができました。

開催会場を去年の実習棟2階からB講義棟1階ラウンジへと場所を移し、bingoゲームを大型ディスプレイとパソコンを使いデジタル化するなど、新しい試みにも取り組みました。当時は太陽の光が優しく差し込むラウンジのおかげか、去年よりもさらにアットホームなイベントとなつたように思います。

開始前に参加者の方に簡単なアンケートを行なったのですが、今回ホームカミングパーティ

に参加された方の約30%が鈴鹿近辺に住んでいる方で、結婚されている方は約6%、今年の卒業生は約40%となりました。やはり、卒業して間も無い参加者の方が多い傾向にあります。大学祭と同時開催とあって遠方からみえる方も多く、中にはお子さん連れ、家族連れの方がいらっしゃったり、これからは参加される方の幅がどんどん広がっていくと思います。(ちなみに「今年、参加してよかったです？」の問いには全員がYesと回答していただきました♪)去年、今年とホームカミングパーティに参加されていない方も、また次の機会にでも気軽に参加していただけたら幸いです。あまり派手ではないですが、アットホームさを売りにこれからもがんばっていきたいと思います。

今回もお世話になりました先生方、活躍してくれたスタッフ、そして当日、ホームカミングパーティに参加していただいた皆さん、今年も新しい思い出を作りありがとうございました。「あの日の忘れ物」は無事に見つかったでしょうか。僕はまた「新しい忘れ物」が増えてしまったように思っています(笑)



学科ブース紹介



医療福祉学科

医療福祉学科では、大学祭の学科発表として手話発表とパネル発表を行います。手話発表ではSMAPの「世界に一つだけの花」とスピッツの「空も飛べるはず」の曲に合わせて手話をしています。また、パネル発表では、私たちの身のまわりの福祉について疑問に感じていることや、もっと多くの人たちに知ってほしいことをパネルにして展示します。今まで知っているようで知らなかった身近な福祉について考えていただける良い機会になると思います。是非一度お越しください。心よりお待ちしております。
(医療福祉学科 助手 小川美香)

サークルブース紹介

あげや（ソフトテニス部）

ソフトテニス部「あげや」では今年もから揚げを売ります。是非お誘い合わせの上、部員の愛情こもったから揚げを食べに来てください。



羽根屋（バドミントン部）

私達バドミントン部は『羽根屋』で「あげだこ」を売ります☆味はマヨとわさびマヨの2種類!! イケメンと愉快な仲間たちがたくさんいますので是非買いて来て下さい。タコのぬいぐるみが目印デス♪



今回は、母校に勤務している卒業生の近況報告を紹介します。

現在、本学卒業生の教職員は3学部6学科に15名です。

紙面の関係上、9名のメッセージを掲載しましたが、同窓会ホームページにて15名全員のメッセージを公開していますので、ぜひご覧ください。
アドレスは <http://www.sums-aa.com/> です。

医用工学部臨床工学科 川合真子さん
(医用電子工学科7期生)



医用電子工学科7期生の川合(旧姓野上)真子です。私は大学卒業時に臨床工学技士の資格をとり、6年間臨床工学技士として働いていました。その間大学院に通い修士課程を修了し、3年前本学に教員として採用されました。大学では、情報処理工学関連の講義や演習、生体機能代行装置学(主に透析)の実習を担当しています。

臨床工学科の学生は、私の学生時代の医用電子工学科とは異なり、すべての学生が臨床工学技士を目指して学習しています。私は、学生に対して自分たちの将来像が想像出来るような指導を心がけ日々頑張っています。卒業生の皆さん、ぜひ自分たちの経験を後輩に伝えに大学に来てください。

医用工学部臨床工学科 秋田展幸さん
(医用電子工学科8期生)



今年4月より臨床工学科教員として赴任しました、本学医用電子工学科卒業生(98生)の秋田展幸と申します。私は、本学卒業後大学院に進学、修士課程修了後、臨床工学技士として病院勤務して参りました。

臨床工学科では今年度からキャリア支援の一環として、実際に現場で働いている方の仕事内容や経験談を中心とした講義が始まりました。実際現場で働かれている方からのお話は大変貴重なものでありモチベーション向上、卒業後の進路決定に非常に役立っています。

今後、卒業生の方々の近況報告などを取り入れた内容を考えております、積極的に大学へ来られてお話しして頂けると非常に学生のモチベーション向上に繋がると思うので宜しくお願いします。

保健衛生学部医療栄養学科 大槻誠さん
(医療栄養学科 4期生)



医療栄養学科4期生の皆さんお元気でしょうか?現在、私は本学医療栄養学科の教員として後輩たちの育成に携わっており、今では私などより立派に育った教え子たちが社会で活躍している姿を見るのがライフワークとなっております。さて、今年の2月には男性陣8名が集まり、愛知県にある日間賀島で旧交を温めてきました。みんな年は取りましたが、あの頃と全く変わらず夜更けまで飲みながら思い出話に花を咲かせました。現在、20数名の同級生とは連絡が取れる状態にあるのですが、HN94生全員を目標にしています。今後も同窓会を開催していきたいと考えていますので、同窓会誌を見たHN94生は ohtsukim@suzuka-u.ac.jp 大槻まで近況報告含め連絡してもらえると嬉しいです。

保健衛生学部医療福祉学科 助手 小川美香さん
(医療福祉学科 3期生)



保健衛生学部医療福祉学科 助手 福田佳奈さん
(医療福祉学科 3期生)

私たちは医療福祉学科の3期生として卒業し、今年度から医療福祉学科の助手として働いています。大学では、私たちが学生時代に経験したことを活かし、先生方のお手伝いや、実習関係の事務、ボランティア活動の支援などを行っています。卒業後、大学に足を運ぶということが難しくなったと思いますが、時間のある際にはぜひ大学に来て頂きたいと思っております。これまで関わりを持つことができなかった先輩方とも、お話できるきっかけになることを願っております。お気軽にお越しください。

保健衛生学部医療栄養学科 酒井香江さん
(医療栄養学科 10期生)



医療栄養学科10期生の酒井です。本学に勤務を始めて今年で5年目となりました。私は現在、骨量と食習慣の関連性の研究等を行い、後輩にあたる学生たちが管理栄養士として社会で活躍できるよう、手助けを行っています。まだまだ力不足で、日々学ぶことが多いと感じています。また、学会等で卒業生に偶然再会したり、実習先の指導担当者になられていたりと、皆さんの活躍ぶりを聞くたびに、嬉しい気持ちと同時に私自身の励みになっています。本学も私が在学中の頃と比べて、新しい学科や講義棟ができ、先生方も増えて、雰囲気も変わってきています。近くに来た際には、是非立ち寄って声をかけてください。

鈴鹿医療科学大学鍼灸センター 大杉義史さん
(鍼灸学科 1期生)



私は6年前、定年退職の年に、本学に鍼灸学科が開設されることを知り、定年後の人生を今までの機械や電気関係の会社勤めとは全く別の、人の体や心を相手にする鍼灸の勉強をしたいと思い本学に入学しました。記憶力の減退に悩みながらも自分の子供のような年齢の若者達と一緒に勉強や飲み会など楽しい大学生活を送ることができました。卒業後、大学付属の鍼灸センターで、午後から患者さんの治療を行っています。現在、全学同窓会の非常任理事と支部である鍼灸学部同窓会の会長をさせてもらっていますが、今年は、同期生の長岡先生が、助手として本学科に来られましたので、今後は長岡先生に同窓会関係の仕事を引き継いでいただこうお願いしました。今後とも宜しくお願いします。

保健衛生学部放射線技術科学科 武藤裕衣さん
(放射線技術科学科 1期生)



一期生のみなさん、卒業生のみなさん、お元気ですか。「人生は旅のようなもの」といいます。私は、M-610惑星を旅立ち、HR91星で良き友人らと出会い、その後、沢山の星を旅し、多くの人と出会い別れを繰り返し、現在、S-2304星に到着したところです。この星に長く居られるのか、それとも短い滞在になるのかわかりませんが、どこにいても精一杯、旅を楽しみたいと思っています。青い海を見て、スポーツカーのエンジン音を聞いて、コーヒーの香りを嗅いで、皆さんが鈴鹿を思い出せるなら、きっと、皆さんが鈴鹿で過ごした時間は決して無駄なことではなかったのではないかと思います。よろしければ、いつでも、この星に遊びに来てください。

SUMS通信

鈴鹿医療科学大学新聞である「SUMS NEWS」記事より、卒業生のみなさんに、最近の鈴鹿医療科学大学の動向をお伝えします。

図書館がリニューアルオープンします

平成20年にトリックス株式会社様から約8万冊の図書をご寄贈いただいたのを機に、平成21年12月より千代崎キャンパスの図書館は大幅な増床改修工事を行っています。利用者の皆様には大変ご不便をおかけしていますが、現在行われている工事が間もなく終了するところです。寄贈された図書も館内で自由に閲覧できるようになります。後期からリニューアルオープンする予定です。

(SUMS NEWS No.72 2010.7.30)

ラジオ番組が始まりました

radio CUBE(レディオキューブ)FM三重において放送されている、三重県の大学生の企画による情報・トーク番組「Campus Cube」(FM三重毎週金曜日 20時30分放送)に、4月から本学学生5人が毎週交替で学生パーソナリティとして参加しています。

「Campus Cube」は、鈴鹿医療科学大学、三重大学、三重県立看護大学、皇學館大学の4大学の現役大学生がキャンパスライフや身近な話題について情報発信していく番組です。

また、4月23日(金)の放送では、保健衛生学部医療栄養学科長の長村洋一教授がゲストで出演し、大学の紹介や先生の研究についてユニークなエピソードを交えて対談されました。平成23年3月までの1年間の放送を楽しみにしてください。

(SUMS NEWS No.71 2010.4.28)



FM三重スタジオにて
長村教授(左)

軟式野球部健闘も全国大会出場逃す

過去に全国大会出場経験もあり、古豪として1部リーグを維持し続けています本学軟式野球部が、中部日本学生軟式野球連盟主催の春季リーグに今年も参加しました。結果は次の通りです。

4月11日	○	4-2	三重大学
5月23日	○	7-0	愛知みずほ大学
6月13日	●	0-1	名古屋商科大学
6月14日	●	0-4	愛知学院大学
6月28日	○	5-1	名城大学
	●	1-2	愛知大学豊橋学舎

奥田恵士選手(鍼灸学科3年) 談話

「この度の春季リーグは3勝4敗の4位という結果でしたが、上位成績は団子状態、最終日、ダブルヘッダー2試合目の愛知大学豊橋学舎との結果次第では全国大会出場の可能性がありました。残念ながら1点差で敗れましたが、この悔しさは9月から始まる春季リーグにぶつけたいと思います。なお、今回のリーグ戦のベストナインに島村亮潤選手(鍼灸学科3年)が選ばれています。

(SUMS NEWS No.69 2009.9.15)



準優勝した軟式野球部員

「障害者スポーツ指導者資格取得認定校」の認定を受けました

障害者の社会参加、健康増進のためにスポーツの振興は重要です。昭和39年の東京パラリンピック以来、全国障害者スポーツ大会、いわゆる身障国体の開催とともに、身体障害者スポーツ指導者講習会を通じ、指導者が養成されています。

財団法人日本障害者スポーツ協会の定める基準カリキュラムを満たす大学、短大等は、障害者スポーツ指導者資格取得認定校として、規定の科目を履修した学生に限り、初級障害者スポーツ指導員の資格申請が可能となります。

本学では、理学療法学科平成19年度生以降が対象となります。障害者スポーツの知識、技術を学ぶことは、就職後、患者、対象者の方々の社会参加、健康増進を助けるだけでなく、高齢者にも可能なスポーツ、ゲームなど、職場でも役立つスキルを身につけることになります。

(SUMS NEWS No.69 2009.9.15)

鍼灸学部同窓会からのお知らせ

鍼灸学部同窓会の理事に 長岡先生が選任されました

長岡先生は1期生で4月から鍼灸学科の助手に就任されています。

～ご挨拶～

このたび、鍼灸学部同窓会の理事に選

任されました長岡伸征と申します。私は本校本学科を1期生として卒業し、三重大学大学院修士課程を修了後、本年度から本学科の助手に就任いたしました。

本学科の卒業者数は今年で100人を超えたが、今後多くの卒業者を輩出することと思います。本同窓会を良い機会として、皆様の交流を深められるように活動していかねばと考えておりますので、皆様何卒よろしくお願ひいたします。

長岡 伸征



森 和先生から卒業生に贈る言葉

森和先生は平成16年4月に鍼灸学部が設立された時の学部長で、今年の3月に退職されました。森先生から卒業生に贈る言葉をいただきました。

～卒業生に贈る言葉～

ご卒業 おめでとうございます。

皆さんは卒業後の未知の世界に向けて希望に燃えていること思います。

卒業は別れであると同時に新しい人生の門出でもあります。

就職、進学など、今後の進路は多様ですが、どの道を進もうとも、みなさんの若い情熱をもってすれば恐れるものはありません。

鍼灸学部で学び過ごしたことを誇りに、さらなる可能性求めて歩いて行ってほしいと願っています。

皆さんの今後の活躍、ご健闘を心からお祈り申しあげます。

森 和

桜田 文八先生からのメッセージ

桜田先生は1期生から今年卒業した3期生までの進路指導を担当されました。今年の3月に退職されましたが、これから鍼灸師の資格取得にチャレンジされることがあります。

一期生および二期生の皆さんには元気でご活躍のことと思います。また三期生の諸君には、初めての実社会の厳しさに戸惑いながらも日々努力していることでしょう。国家試験というハードルを残念ながらクリアできなかった諸君! 人生はまだこれから50年以上も残っている。1回や2回の失敗にくじけることなく、その口惜しさをエネルギーにすることで頑張ってほしい。

小生、この3月末に9年間勤務した大学を退職しました。会社定年で帰郷し念願の大学で学生諸君とともに過ごせたことに感謝しています。

鍼灸には全く素人がゼミ生と良導師を勉強するうち東洋医学の奥深さと鍼灸の可能性に魅せられました。古希を迎える歳となって、いまからでも遅くはない……東洋医学を学び鍼灸師になろう……

2年ほど前からそう決めました。この歳で何をするの? 冗談でしょう! 呆れて何も言えんわ! 偉いわねー!などの声が聞こえてきます。本人は単純で、「好奇心を満足させる身勝手な道楽」と弁解しているが、本当のところは…… 音楽療法学会や「新老人の会」で知り合った聖路加病院理事長で、「100歳までに理想の病院を作る」と元気いっぱいの98歳の現役医師、日野原重明先生のような生き方に近づきたい…… そう思うようになりました。

4月から専門学校の一年生です。鍼灸師になったら、超高齢社会中で鍼灸・音楽・食養生などを組み合わせ生涯現役で働きたいと思っています。皆さんは私の先輩です。先輩のみなさん、新入りの桜田にいろいろなアドバイスをよろしくお願いいたします。最後にみなさんのご健康とご活躍を祈ります。



浦田 繁先生からのメッセージ

浦田先生は今年4月に鍼灸学科長に就任されました。

皆さん、お久しぶりです。今般、学科長に就任しました。最近は鈴鹿山麓の渓谷めぐりにはまっています。

さて大学ではこの3月に3期生が卒業し、同窓生が2桁から3桁になりました。教員の仕事は、在校生に対する活動を中心ですが、近頃卒業生の皆さんから便りや相談を受けることが増えるに至り、真っ白だった同窓生のキャンパスに少しづつ筆が入っている感じです。これが10年15年と経つうちに、鍼灸学科を表わす絵になってくれたらと願う今日この頃です。

ところで、近頃にした言葉に小林一三氏(阪急電鉄創設者)のこんな発言があります。「下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみろ。そうしたら、誰も君を下足番にはしておかぬ」。小林氏は慶應大卒後、三井銀行に入社し、順風満帆エリートコースを歩みます。その後、34歳の時に厚遇でヘッドハンティングされますが、不況のあおりで移籍先がなくなるという憂き目に会い、路頭に迷った挙げ句、倒産寸前の会社に引き取られ何とか食い扶持をつなぎます。そこでの仕事は、エリートコースを歩んできた小林氏にとって、つらく非常に地味な仕事の連続でしたが、彼は腐らず1つの目標に向かって邁

進します。その目標とは、「この鉄道会社を何とか成功させ、大阪の町を発展させる」というものでした。彼の勤めた会社とは、「箕面有馬電気軌道株式会社」、後の「阪急電鉄」でした。彼は昭和二年に社長になり、自らの言葉どおり「日本一の下足番」となりました。

どんな人でも「かっこいい仕事をしたい」「思い通りの仕事がしたい」という望みを持っています。しかし、100%その望みを果たせることは、非常に稀なことです。そんな時腐らず、目前の仕事を精一杯こなし、その中で得られるものを得て、次につなげていく努力が肝要であるということを小林氏の足跡は教えてくれているように思います。また、時代の進歩が早いことから、何事もスピードや性急さが求められますが、そんな時代だからこそ「石の上にも3年」といった忍耐強さが大切なかもしれません。とはいっても、人間は立ち止まってしまうことがあります。そんな時、立ち上がるきっかけを与えてくれる有難い存在が同窓生です。また、我々教員もその役割を担える存在でありたいと考えています。羽ばたくことに疲れた時には、是非大学で翼を休めてください。待っています。



医療栄養学科同窓会からのお知らせ

拝啓 残暑お見舞い申し上げます。皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今年は5年に一度開催致します、医療栄養学科同窓会の年でございます。

第1回を5年前の碧鈴祭にて開催いたしましたが、第2回となる今回も、碧鈴祭と同日で開催をする運びとなりました。恩師の先生方とも多数ご出席いただく予定です。お互いの再会を喜び、親睦を深め、懐かしいひとときを楽しんでいただきたいと存じます。

また、さまざまな業種へ就職された卒業生の近況について、講演を依頼しております。

同業種ならではの悩みや相談事などもあるかと思います。この機会が、同業種どうしでの交流の機会になればとも思っております。

ご多忙中とは存じますが、万障お縁り合わせのうえ、ぜひご出席ください。



第2回医療栄養学科同窓会幹事

10期生 野田 博晃

敬 具

第1部 卒業生の講演会

- 日 時 平成22年11月6日（土）13：00～15：30
- 場 所 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B棟 3513教室

3. 講演者

講演者	現在の所属	講演概要
1期生 秦 いづみ	三重県立総合医療センター 運営調整部 栄養グループ	「管理栄養士に求められるもの」
4期生 松田 有希子	株式会社スズケン ニュートリション担当	「就職活動～現在に至るまで」
10期生 野田 博晃	聖隸佐倉市民病院 栄養科	「卒業して7年たった今、得られたこと、感じること」
11期生 水谷 泰子	医療法人 富田浜病院 栄養科	「浜っこな仕事」
13期生 飯田 健史	静岡県湖西市立白須賀小学校	「学校栄養士として」
15期生 小堀 結加	山田赤十字 老人保健施設 虹の苑 栄養係	「管理栄養士2年生」

パネルディスカッション 等

第2部 医療栄養学科同窓会

- 日 時 平成22年11月6日（土）16：00～18：00頃まで
- 場 所 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B棟 ラウンジ
- 会 費 無料
ビンゴ大会なども開催予定です。

卒業生の皆さん、白子・平田駅周辺にも随分ビジネスホテルが建ちましたので、これを機に夜は各学年で同窓会など開催し、旧交を深めて頂ければ幸いです。

なお、講演会・同窓会への参加人数を把握させて頂きたいので、参加される卒業生の方は

- ① 氏名(旧姓も含め)、
- ② 学籍番号(覚えていない方は何期生か)、
- ③ 誰ゼミだったか(任意)

を記載し、平成22年10月8日(金)までに eiyounh@suzuka-u.ac.jp(4期生 大槻 誠)までメールをください。

皆様とお会いできることを楽しみにしております。

大学案内

2011年度 学生募集について

2011年度入試では、大きな変更点があります。まず、保健衛生学部 医療栄養学科の募集が「管理栄養コース（既設）」と「臨床検査コース（新設）」の2コースとなります。管理栄養コースは管理栄養士の受験資格が、臨床検査コースでは臨床検査技師の受験資格が取得できます。さらに特待生（授業料減免）制度が新設されます。これは、「一般入試 A 日程」及び「センター利用方式 前期」において、入学試験の成績優秀者を対象に1年次前期分の授業料を免除します。2年次以降も成績が各学科の上位10%以内であれば継続して前期授業料が減免されます。

優秀な学生に来ていただくために日々改善しておりますが、18歳人口の減少をはじめ、全国各地に医療系学部・薬学部を有する大学が多数設置されたこともあり、競合他校との激戦となっています。地元志向がさらに強まり、通学範囲内で進路選択をする受験生が増える中、

他の医療系大学との差別化が一層求められています。日本発の医療系総合大学である鈴鹿医療科学大学の魅力をより多くの方に認識していただけたこと、それはつまり、社会に通用する医療人の育成です。今後も教職員一丸となって教育内容の充実と人材育成に努めてまいります。

また、学生募集においては、本学の教育内容・方針をご理解いただいている同窓生皆様のご支援・ご協力も必要となります。全国各地でご活躍中のOB・OGのネットワークを活かし、鈴鹿医療科学大学を発展させていきたいと思います。ご親族やお知り合いの方で医療系に関心のある受験生の方がいらっしゃいましたら、本学の案内・願書などを無料で送付させていただきますので、ご一報ください。その際、本学同窓生の〇〇〇〇ですが、とおっしゃっていただけると幸いです。よろしくお願い申し上げます。

■募集学部・学科

学 部	学 科	定 員
保健衛生学部	放射線技術科学科	100名
	医療栄養学科 管理栄養コース	40名
	医療栄養学科 臨床検査コース	40名
	理学療法学科	40名
	医療福祉学科	60名
医用工学部	臨床工学科	40名
	医用情報工学科	20名
鍼灸学部	鍼灸学科	40名
薬学部	薬学科（6年制）	100名

■2011年入試概要

入試形態		試験内容
AO入試 ※1		課題 + 面接 + 提出書類
推薦入試	基礎テスト方式	基礎テスト2科目 + 提出書類
	面接方式	面接 + 提出書類
一般入試 ※2	A日程	必須1科目 + 選択1科目（選択2科目の3科目入試もあり）
	B日程	選択1科目（必須1科目 + 選択1科目の2科目入試のみ）
センター利用方式	前期	指定科目から高得点3科目
	後期	指定科目から高得点2科目

※1 AO入試は一部の学科で実施。

※2 () 内は、薬学部の試験内容となります。

(お問い合わせ) 入学課
TEL : 059-383-9591
E-mail : nyushi@suzuka-u.ac.jp

編集後記

先日、猛暑の中高等学校の頃の部活の同窓会があり、一同窓生として参加しました。厳しく指導していただいた大先輩から、今年卒業の若い後輩まで、30年の歳月の間に同じ部活にかかわった人たちが一堂に集いました。当時のことを思い出しながら、久しぶりの再会を楽しむとともに、

後輩たちが20年の歳月の間、部活の伝統を大事につないでくれていたこととてもうれしく感じました。大学の同窓会も設立されてもうすぐ20年の歳月が経ちます。20年の間に作られた同窓会の礎を同窓会のスタッフとして、次の代へ受け継いでいけたらと思います。